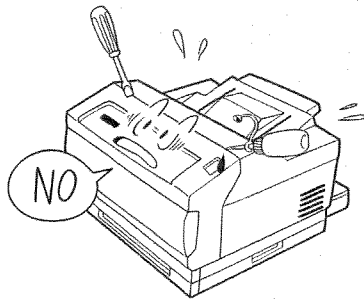


安全のために守っていただきたいこと

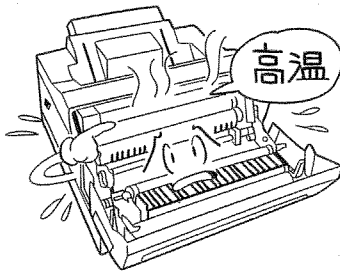
プリンターを安全に、良好な状態でお使いいただくために、次の点にご注意ください。

- 本書で指示している部分以外は、決して自分で手入れや修理をしないでください。感電などの危険があります。



- プリンターのお手入れについては、P184「日常の取り扱い」で説明しています。

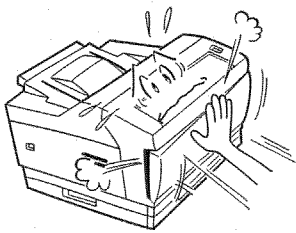
- 印刷直後は、プリンター内部の定着器周辺が非常に高温になっています。ご注意ください。



- 注油や分解は、絶対にしないでください。

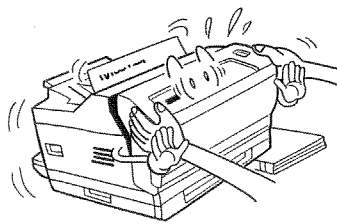
- 前面カバーの開閉、EPカートリッジの取り付け、詰まった用紙の取り出しなどを行う場合には、これらの部分に触れないように、特に注意してください。
- また、プリンターにカバーをかける場合は、電源スイッチをOFFにし、この部分の温度が十分に下がってからにしてください。

- 前面給紙トレイおよび前面カバーの開閉は、いねいに行ってください。



- 印刷中は、振動を与えないでください。

- 印刷中は、絶対に前面カバーを開けないでください。



- 長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

次の場合には、プリンターの電源を抜いて、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

- 電源プラグやコードが傷ついている場合
- 本体の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合
- 本体内部に水などが入った場合
- 発煙したり、変な臭いや音が生じた場合
- 操作手順に従って操作しても、正常に動作しなかった場合
- 本体を落としたり、本体が損傷を受けた場合

特長とはたらき

本プリンターは、次のような特長をもつ電子写真方式のレーザービーム・プリンターです。

豊富なエミュレーションを搭載し、マルチベンダーに対応

ページ記述言語PAGESを装備

ページ記述言語としてPAGES (Page Printer Advanced Graphics Escape Set) を搭載し、高品質のDTP (デスクトップパブリッシング) を実現することができます。

また、IBMシステムとの接続において、高い信頼性を提供します。

IBM 5577エミュレーションを装備

IBM 5577エミュレーションを搭載し、IBM 5577印刷装置対応のソフトウェアでの使用ができます。

ESC/Pエミュレーションを装備

業界標準のドットインパクトプリンター言語であるESC/P24-J84を搭載し、ESC/P対応のソフトウェアでの使用ができます。

PC-PR201エミュレーションを装備

ドットインパクトプリンター言語である201PLを搭載し、PC-PR201対応のソフトウェアでの使用が可能です。

高速処理を実現する高性能32ビットRISCプロセッサを搭載

コントロール部には、最新の高性能32ビットRISCプロセッサ(25MHz)を搭載し、A4用紙の場合、1分間に最大16枚という高速印刷を行います(ただし、同一内容を印刷の場合)。また、短時間で各種アウトラインフォントを美しく鮮明に出力します。

720dpi相当の高解像度でSFCによる高品質の印字

SFC (スーパー・ファイン・コントロール) 機能により、1インチ当たり720dpi相当という高解像度で、品質の高い印刷を実現しています。SFC機能は文字や図形の輪郭を自動的にスムージング処理してより滑らかに美しく印刷することができます。

平成フォントを標準で搭載

日本語フォントとして、美しい平成アウトライン・フォント（平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5、(注)）を標準搭載し、サイズの大きな文字でも美しく印字し、高度なDTP文書が作成できます。

(注) この書体は（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

各種用紙サイズ、用紙の種類に対応

印刷できる用紙のサイズは、A3からハガキサイズまで広い範囲のサイズに対応、扱える用紙の種類も、普通紙、ラベル紙、官製ハガキ、OHPとさまざまなタイプに対応できます。

使いやすい操作パネルの採用

給紙方法、印刷の中断などは、操作パネルのスイッチを押すだけといった簡単な使い勝手。コピー枚数や印刷範囲の設定など、印刷のための各種設定も、わかりやすいメニューを使って行います。

システム・ユニットから各種設定ができる「操作パネル・コントローラー」を標準添付

プリンターの種々の設定をシステム・ユニットから制御するための「操作パネル・コントローラー・ユーティリティ」も標準添付されています。

最大1,000枚までの大量連続印刷も可能

別売の給紙ユニットを取り付けることにより、給紙カセットを2段または3段にすることができ、さらに効率のよい印刷作業が行えます。また、給紙ユニットには、500枚タイプもあり、3段増設時には最大1,000枚まで用紙をセットすることができ、効率よく大量印刷を行えます。（前面給紙トレイを含めると、最大1,050枚までセットできます。）

特長とはたらき

オフィス環境対策；パワーセーブモード/トナー節約モード/オゾンレス設計/低消費電力設計を採用
パワー/トナー節約モードを採用することにより、電力やトナーの消費を抑えて、低ランニングコストを実現するとともに、環境にやさしい省エネ時代のプリンターとなっています。また、オゾン発生量も大幅に低減し、最大550Wの低消費電力設計とともに、オフィス環境への配慮がされています。

本書の読み方

本書は、「設置編」、「基本操作編」、「応用操作編」、「異常時の診断と日常の取り扱い」の4編に大きく分かれています。

設置編

プリンターを設置するときにお読みください。

プリンターをお使いになるまえに心得ておいていただきたい注意事項、プリンターの設置方法から、システム・ユニットとの接続、プリンター・ドライバーのインストール、印字テストまでの手順について説明しています。

基本操作編

一般的な印刷の際の操作を知りたいときにお読みください。

用紙のセット方法から印刷の操作、詰まった紙の取り除き方など、印刷に関する操作について説明しています。

応用操作編

より高度に使いこなしたいときにお読みください。

一般的な印刷では飽き足らない、プリンターをより高度に使いこなしたいという場合のために、操作パネルを使った各種印刷設定の方法について説明しています。

異常時の診断と日常の取り扱い

印刷をしていて困ったことが起きたときにお読みください。

印刷時に起こりやすいトラブルを取り上げ、その原因と対処方法について説明しています。

また、日常のお手入れの方法など取り扱いについても説明しています。

巻末には、用紙について、オプション製品の紹介、文字セット一覧、本プリンターの主な仕様、索引などを記載しています。

目次

IBM 5588-H02型 レーザー・プリンター

設置・操作ガイド

こんなときにはここを読んでください	ii
電波障害自主規制届出装置の記述	iv
レーザーの安全性	
電氣的保安	
はじめに	vi
安全のために守っていただきたいこと	vii
特長とはたらき	viii
本書の読み方	xi
目次	xii

設置編

付属品を確認する	2
各部の名称	4
設置についてのご注意	6
設置手順の流れ	9
作業1 EPカートリッジを取り付ける	10
作業2 給紙カセットに用紙をセットする	12
作業3 電源コードを接続し、電源を入れる	14
作業4 印字テストをして、電源を切る	16
作業5 システム・ユニットに接続する	19
プリンター・ドライバーの選択	20
作業6 プリンター・ドライバーをインストールする	21
作業6-a Windows用プリンター・ドライバーをインストールする	22
作業6-b エミュレーション・モードを使うには	23

基本操作編

各部の名称とはたらき	28
■本体	28
■操作パネル	31
印刷手順の流れ	37
用紙をセットする	38

■前面給紙トレイの使い方	39
電源をONにする	41
給紙方法を選ぶ	43
■一時的に変更する	45
■初期値を変更する	46
前面給紙トレイの用紙サイズを選ぶ	48
用紙方向を選ぶ	54
■一時的に変更する	55
■初期値を変更する	56
データを印刷する	58
■印刷を中断するには	59
■印刷を再開するには	60
■残ったデータを強制的に印刷するには	61
■リセットするには（印刷の取り消し）	62
[知っておきたい印刷操作] 詰まった用紙を取り除く	64
■「カミツマリ キュウシブ」「カミツマリ ソウチナイブ」と表示された場合	65
■「カミツマリ ハイシブ」と表示された場合	67
[知っておきたい印刷操作] トナーの消費を抑える	71
■一時的に変更する	72
■初期値を変更する	73
[知っておきたい印刷操作] 印字濃度を調節する	74
■印字濃度を濃くするには	74
■印字濃度を薄くするには	75
[知っておきたい印刷操作] 縮小・拡大印刷をする	76
■一時的に変更する	77
■初期値を変更する	78
[知っておきたい印刷操作] EPカートリッジを交換する	80

応用操作編

モード設定について	86
モード設定の基本操作	92
■モード設定の流れ	92
■設定モードに入る	93
■設定項目を選ぶ	94
■選択肢を選ぶ	95
■数値を設定する	97

■モードを終了し、設定値の保存方法を選ぶ	98
前面給紙トレイ用紙サイズ	100
エミュレーション設定	101
詳細設定 1	103
■詳細設定 1 の基本操作	103
■詳細設定 1 の各機能と選択肢	106
詳細設定 2	113
■詳細設定 2 (マージン設定を除く) の基本操作	114
■詳細設定 2 (マージン設定を除く) の各機能と選択肢	117
■マージン設定の基本操作	121
■マージン設定の各機能と選択肢	124
インターフェース設定	126
■インターフェース設定の基本操作	126
■インターフェース設定の各機能と選択肢	129
テスト印刷	131
■テスト印刷の各機能について	131
■16進ダンプ・モード印刷の操作手順	136
■テスト印刷の印刷例	139
PAGES設定	144
■PAGES設定の基本操作	144
■PAGES設定の各機能と選択肢	147
ESC/P設定	149
■ESC/P設定の基本操作	149
■ESC/P設定の各機能と選択肢	152
PC-PR201設定	153
■PC-PR201設定の基本操作	154
■PC-PR201設定の各機能と選択肢	157
ユーティリティー・ディスクットについて	162
操作パネル・コントローラーの導入と起動	163
■NetWare 386 v3.1Jを使用している場合	163
■IBM DOS J4.0,IBM DOS J4.0/VまたはPC DOS J6.0/V以上を使用している場合	163
ユーザー・フォント・ユーティリティーの導入と起動	166
プリンター・ドライバーの選択と導入	170
■Microsoft® Windows™ Version3.1	170
■OS/2 J2.0以上	170
■OS/2 J1.3	170
■J-DOS J4.0/J5.0	171
印刷取消要求	172

異常時の診断と日常の取り扱い編

異常時の診断	174
■電源投入時の異常	175
■操作パネルの異常	175
■エラー・メッセージが表示されたとき	176
■用紙送りの異常	178
■印字に関する異常	179
■異常な音がする時	183
日常の取り扱い	184
■お手入れについて	184
■プリンターを移動するときには	187

付録

付録A 用紙について	192
■使用できる用紙について	192
■特殊な用紙について	194
■使用できない用紙	196
■印刷推奨領域・印刷保証領域	197
■用紙の保管について	198
付録B オプション製品・サプライ品の紹介	199
■サプライ品	199
■オプション製品	203
付録C 拡張メモリーの装着	204
付録D エミュレーションの解説	206
■PAGES	206
■5577エミュレーションご使用時の注意点	221
■PC/3270,PC/5250ご使用時の注意点	221
■日本語5250PCご使用時の注意点	221
■ESC/P	222
■PC-PR201	228
■NetWare 386 v3.11J,v3.12J/V上でのプリンターの共有	234
付録E パフォーマンス・アップのためのメモリー・チューニング	237
■各設定のメリットと注意点	238
付録F 他の印刷装置との違い	240

■字形の違い	240
■バーコードコマンドの追加	240
■IBM 5584-H02印刷装置との違い	240
■IBM 5585-H01,5589-H01,5587-H01印刷装置との違い	242
■IBM 5577印刷装置との違い	243
■IBM 4216-510印刷装置との違い	244
付録 G 用語の解説	245
主な仕様	251
索引	252